

発想し計画したイメージは、最終製品やサービス、まちづくりにおいて達成できているのか？  
イメージスケールは成果物のイメージを構成する「部品・単体・編成・体系・様式」の各レベルでのイメージの管理と評価を可能にする共通言語になる。

## ■講師 プロフィール



杉山朗子（すぎやまあきこ）

神奈川県小田原市生まれ  
早稲田大学第一文学部心理学専修  
現在(株)日本カラーデザイン研究所 シニアコンサルタント  
人の心理の視点でカラー&デザイン研究に取り組み、ものづくり、ひとづくり、まちづくりというコンセプトで業界的に活動。

## ■(株)日本カラーデザイン研究所

色彩の心理的な研究成果の蓄積を武器に、商品開発やトレンド情報を発信する感性情報企業。

1967年に小林重順によって創立、日本の民間の色彩研究機関としては最も古い企業に属する。配色と感性語を結びつけた「イメージのものさし=イメージスケール(特許取得)」の開発企業として知られており、2018年アメリカのマンセル没後100年記念大会にマンセルを基にした展開の功績で招待講演。商品開発のための研究事業としてプロダクト製品や住宅関連、パッケージなどを中心に、建築・景観分野の色彩計画など客観的なリサーチと情報蓄積に基づいた研究提案を行っている。それらの研究をもとにイメージスケールを使った好みの診断システムやWeb上で顧客診断が出来る各種システムを開発。定期的に各種カラーセミナー開催の他、企業向け研修も行っている。  
※Wikipediaより。

## ■主な業務履歴

- トレンド情報資料「イメージ情報」創刊に携わり、あらゆる分野へ対応するカラートレンド予測の方法論の確立。カラーマーケティング理論の実践版として注目される。現在も継続出版中。2018年8月第75号発行
- 各分野の色彩調査をもとにした広い分野で使える印刷インキ見本帳企画、現在も好評販売中
- 化粧品、日用品、家電、インテリア、精密機器、パッケージ等のモノづくり、販促・宣伝のコミュニケーション、小売業MD企画、建築・土木・景観等、各種分野でのコンサルティング。
- 1980年代から景観・土木分野の色彩提案を行い、東京港レインボーブリッジ、明石海峡大橋色彩検討等
- 2006年より、定期的に「まちづくり景観色彩セミナー」を開催、全国での講演。
- 2008年より中国での色彩教育、景観色彩計画アドバイス
- 2008年よりカラーユニバーサルデザイン研究に参加(国際ユニバーサルデザイン協議会のうちメディア研究部会)
- 2013年よりカラーマーケティングセミナー開催

## ■他の活動

学校法人環境造形学園 専門学校ICS カレッジオブアーツ講師 1985～2003  
東北芸術工科大学デザイン工学部及び芸術学部非常勤講師 2007～  
地方行政団体・業界団体でのカラーマーケティング講座、カラートレンド講座など(千葉県主催景観講座、銀座新ライオンズクラブ、東京屋外広告物協会、宮城県・仙台市広告物講習色彩編等)自治体の景観審議委員、屋外広告物審議委員および景観アドバイザー

## ■所属団体

日本色彩学会(環境色彩研究会)  
日本学術会議協力学術研究団体 JUDI 都市環境デザイン会議、  
NPO 景観デザイン支援機構

## ■著書

「色感素養」共著 ダヴィッド社  
「地域イメージを活かす 景観色彩計画」共著 学芸出版社  
「21世紀ビジネスアイ」共著 ダイアモンド社  
「男のカラー・コーディネートブック」ナツメ社

## ■その他

全国農業新聞、タウンページPR誌、カラーエイジ食品  
包装 SIGN など各分野の媒体で記事掲載  
2014年より TOYO インキ株式会社 HP にて「デザインを活かす色彩学」現在連載中  
※2018年9月現在

Glocal Design Lab of demonstration

Exhibition



(株)日本カラーデザイン研究所



でざいん談話室/福山

誰でも気がねなく・気軽に参加できる談話室です。

栄久庵憲司DNA/GLOCAL DESIGN/ 談話室第5回/20181215